

入学おめでとう

2017年度の飯能市の小学校、中学校の新入児童数及び入学生徒数は下表のとおりです。

学 校 名	新入児童数
飯 能 一 小	93名
原 市 場 小	25名
飯 能 二 小	7名
富 士 見 小	104名
南 高 麗 小	7名
加 治 東 小	39名
加 治 小	93名
双 柳 小	78名
精 明 小	18名
美 杉 台 小	125名
東 吾 野 小	3名
吾 野 小	2名
西 川 小	1名
名 栗 小	6名
合 計 14 校	601名

中学校

学 校 名	入学生徒数
飯 能 一 中	161名
飯 能 西 中	103名
南 高 麗 中	9名
加 治 中	134名
吾 野 中	21名
美 杉 台 中	70名
原 市 場 中	36名
名 栗 中	5名
合 計 8 校	539名

命・くらし・『足』守る3署名 一次分を市長に提出



3137人分の署名を上副市長に提出

4月4日、共産党議員団は現在取り組んでいる「3つの要求署名」を第一弾として合計3137人分を、大久保市長に提出しました。3つの要求署名は昨年、日本共産党飯能市委員会が実施した「市民要求アンケート」に寄せられた切実な要望を飯能市政に生かすために政策化し、市民との共同の力で実現をめざすものです。

日本共産党飯能市委員会はこの間、後援会や市民運動のみならず、市民の足をまもる3つ署名運動に取り組んできました。

この間、寄せられた「国民健康保険税を一世帯1万円引き下げ」と「介護保険料の引き下げ」を求める署名は1052筆。「保育所持機児童の解消」と「学校給食費の無償化を求める署名」は

「この3つの署名は、切実な市民要求に根ざしたものであるだけに、どこに行っても「私の気持ちにぴったり！」と期待の聲が寄せられています。共産党の4人の議員は、「中学卒業までの子ども

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子としえ
090-7265-1601
山田とし子
090-4389-4439
新井たくみ
090-4010-5650
滝沢おさむ
090-7000-4481

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所456)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

1004筆。デマンド交通システムと小型循環ワゴンの運行で住民の「足の確保」を求める署名が1081筆。合計3137筆を第一次分として大久保市長に提出しました。

大久保市長に代わって対応した上副市長に金子としえ議員から、署名の取り組みの経過や切実な市民の声を伝えて懇談しました。

上副市長は「人口減少を克服し持続可能な地域をつくるために必要な施策は何かということ、総合的な視点で考え取り組んでいきたい」と語りました。

財源はある！税金は暮らしに活かしてこそ

日本共産党の「3つの署名」に対して、「どれも大切だが、財源はあるのか？」とのご意見が寄せられています。改めて財源問題と日本共産党の見解を明らかにしました。

■新交通システム

デマンド交通や循環ワゴンでは、坂戸市をモデルに試算するとおよそ8千万円の財源が必要です。

■国保一世帯1万円引き下げについて

日本共産党市議団は2013年に提言を発表しています。この中で、一世帯1万円の引き下げを行った場合、およそ1億3千万円です。

近隣の市並みに一般財源からの繰り入れを行えば十分です。

■繰越金を市民要求実現にまわせ！

飯能市は、27年度一般財政を14億円繰り越しています。さらに自由に使える基金(財政調整基金)も18億円あります。こうした財源の一部を市民生活に切実なこれらの施策に当てれば実現できるものです。

■学校給食の無償化について

飯能市の29年度状況では、教育委員会の試算だと、小学校(3591人)と中学校(1771人分)で、学校給食費は年間2億6千2百万円です。そこから就学援助児童分(約3千1百万円)を差し引いて、およそ2

のために全力で取り組む決意です。

波 紋

広小路には飯能の水道の父と言われる双木利一さんの胸像があります。

双木さんは昭和初期の飯能町の町長として、上水道建設に尽力された方です▼「赤旗」日曜版に東工大教授の中島岳志さんの「本当の保守主義をつらぬくと、共産党と共鳴する時代」という記事が載りました。それを読んでいて、飯能の水道問題でも県水導入をやめさせ、先人が営々と築いてきた飯能の水を守れと提案しているのは共産党であり、必要のない県水導入を問答無用にすすめているのが「保守」を標榜している人たちであると気づいたのです▼中島さんは「いま『保守』を標榜している人たちは本来の保守やリベラルとは真逆だ」と言っています。飯能の「おいしい水を飲みたい」という、ごくあたりまえのことが通らない飯能の市政に、岩淵自治会が異議の声をあげました。総会で全員の賛成で、県水の減量を求める要望書を市長に提出することを決めたのです。市政を変える確かな鼓動です。

前進を評価しつつ 大增税・負担増には反対

日本共産党飯能市議団は3月定例市議会に提案された2017年（平成29年）度予算について、子ども医療費無料化、子どものインフルエンザ予防接種の無償化、コウフトリ事業などの推進で子育て世代の転入、出生率が増加していること、新たに新年度予算で「ゼロ歳児おむつ無償化事業」「防犯灯LED化」などが予算化されたことを評価しつつ、29年ぶりにエンゲル係数が高水準になるなど家計消費が落ち込むなかで、大企業優遇税制と市民負担増を柱とした予算に反対討論を行いました。討論の要旨は以下のとおりです。

- ①大企業には減税、市民には消費税増税と負担増が押しつけられた予算である。
- ②都市計画税は制限税率を課税している。都市計画税は自治体独自で決められるものであり、税率を軽減すべきである。
- ③土地開発公社から阿須山中の土地を買い戻すために今年度も2億円が計上されている。総額20億円を投じて買い戻す以上、土地利用の方向性を明示する必要がある。
- ④美杉台中学校建設費償還金1億4千9百万円余は、都市再生機構に無償貸与を求めるべきである。
- ⑤南高麗共同調理場、

名栗共同調理場が一年前倒して 民間委託される。学校給食は学校教育の環境であり、直営で運営されるべきである。

⑥農業委員会法の改正で農業委員は23人から10人に削減され、農地利用最適化委員が9人となった。農業委員の公選制が廃止され市長の任命制になった。農業者からの陳情や意見書も扱わない内容の予算は認められない。

⑦大河原、本郷間の飯能大河原線の整備事業は当初の計画通り、大河原永田線をUR都市再生機構の責任で完成させるべきものであった。それを市の単独事業で推進することは、市民生活に直結した事業を停滞させることになり、認められない。

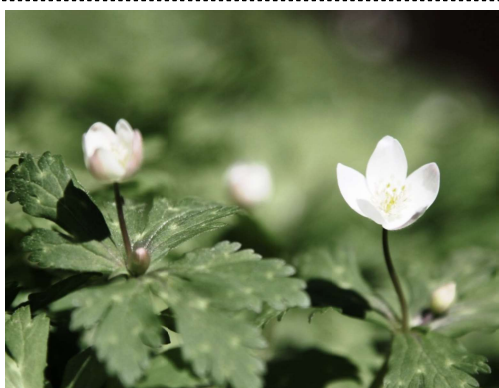
ムーミン問題の質問に 市長が気色ばんだ答弁……

3月定例市議会では山田議員は、ムーミンのテーマパーク建設計画は、市民に対して十分な説明や情報提供がされていない。そうした中で、とつぜん開設の一年延期が発表されたとして、市の総合振興計画にも、どこにもな

かったムーミンがどのような経緯で、飯能に誘致できるようになったのか。なぜ一年延期になったのか市民は疑問に思っている、これではムーミンに振り回されてしまうのではないか。市はラインテック社との間に協定を結ん

でいるが、その内容に秘密協定があることは議会軽視、住民自治の否定ではないか。市は全面的な協力を約束しているが具体的などんな協力なのか。オープンしたときに、消防署の機能に支障はないのかなど、市民が疑問に思っていることを質したものでした。

大久保市長「ムーミンのことを否定的な意見で



二輪草（ニリンソウ）

川中美幸の歌で有名になった二輪草。まだ一つしか咲いていませんが、葉の上にある蕾が「少し遅れて咲く花を♪…」の様に、二輪揃って咲きます。（撮影地、吾妻峡）



ガードレールが設置され安全に……

昨年11月に、岩淵の方から歩道に設置されていたガードレールが途中で未設置になっていて、以前、自転車に乗っていた人が、下の畑に転落してケガをしたこともあり危険なので改善してほしいという要望がありました。地元のひとと金子としえ

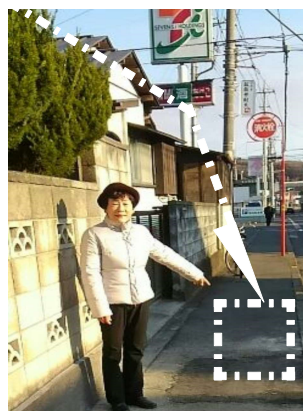


歩道の中に建てられた標示柱

日本共産党へのアンケートで、飯能駅北口から中山の299号バイパスに向かう、新町コンビ二前の歩道に設置されていた「標示柱」につ



要求実現!



いて、周辺住民の方から「車いすが通れない」「車道に出ない」とすれ違えず歩けない。何とかならないのか」との要望が寄せられました。

山田とし子市議会議員は、市の担当課と飯能県土事務所に撤去・移設をもとめて交渉しました。その結果、今年2月に撤去され、歩道が広くなりました。（写真）

街角イベント情報

■お散歩マーケット

人気の「春のお散歩マーケット」が今年も計画されています。

- ・日時 5月7日（日）
- ・午前9時～午後4時
- ・飯能市上直竹上分
- ・受付 上分自治会館
- ・参加費 大人300円
- ・小学生以下100円
- （マップ・保険代含む）

※飯能駅北口から国際興業のバスが出ています。